

第1号様式（第9条関係）

条 例 見 直 し 調 書

		作成年度	平成30年度	次回見直し予定	平成35年度
条 例 名	神奈川県子ども・子育て支援推進条例				
条 例 番 号	平成19年神奈川県条例第6号	法 規 集	第6編第2章第3節の3		
所 管 室 課	福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課				
条 例 の 概 要	子ども・子育て支援について、基本理念を定め、並びに県、事業者、子ども・子育て支援機関等及び県民の責務を明らかにするとともに、子ども・子育て支援を推進するための基本となる事項を定めている。				
検 討	視 点	検 討 内 容			備 考
	必要性 〔現在でも必要な条例か。〕	<p>少子化の進行とともに、核家族化、共働き家庭の増加、働き方の多様化、地域のつながりの希薄化など、子育てをめぐる環境が大きく変化する中、県民が安心して子どもを産み育てられるための環境整備の必要性は以前にも増して高まっており、今後も必要な条例である。</p>			
	有効性 〔現行の内容で課題が解決できるか。〕	<p>本条例に基づき、県による子ども・子育て支援に関する取組みが着実に進められているとともに、事業者や団体等による自主的な取組みの促進が図られており、有効に機能している。</p> <p>ただし、平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されるなど、全国的に子どもの貧困対策の重要性が強く認識されている中、県として子どもの貧困対策を推進していく旨を明確に示し、取組みの実効性や継続性を担保するため、条例への位置づけを検討する必要がある。</p> <p>また、平成27年4月の「次世代育成支援対策推進法」の改正を踏まえ、従業員のための子ども・子育て支援を制度化している事業者の認証に係る規定を整理するため、条例の改正を検討する必要がある。</p>			
	効率性 〔現行の内容で効率的といえるか。〕	<p>本条例に基づき、県による子ども・子育て支援施策が総合的に展開されるとともに、事業者の認証制度、表彰、子ども・子育て支援月間などの枠組みの下、事業者や団体等による子ども・子育て支援の取組みの活性化が図られるなど、効率的な内容になっている。</p>			
	基本方針適合性 〔県政の基本方針に適合しているか。〕	<p>本条例は、「かながわグランドデザイン（基本構想）」が掲げる「子ども・子育てを支える社会環境の整備」や「支援を必要とする子ども・家庭への対応」など、子ども・子育て支援を推進するためのものであり、県政の基本方針に適合している。</p>			
適法性 〔憲法、法令に抵触しないか。〕	<p>本条例は、子ども・子育て支援について、基本理念を定め、並びに県、事業者、子ども・子育て支援機関等及び県民の責務を明らかにするとともに、子ども・子育て支援を推進するための基本となる事項を定めるものであり、憲法、法令に抵触するものではない。</p>				

	その他	
見直し結果	1 改正・廃止及び運用の改善等の必要はない。 2 改正・廃止の必要はない。運用の改善等を検討する。 3 改正を検討する。運用の改善等の必要はない。 4 改正及び運用の改善等を検討する。 5 廃止を検討する。	<p style="text-align: center;">理 由 等</p> <p>県として子どもの貧困対策を推進する旨を明確に示し、取組みの実効性や継続性を担保するため、条例への位置づけを検討する必要がある。</p> <p>また、次世代育成支援対策推進法の改正を踏まえ、従業員のための子ども・子育て支援を制度化している事業者の認証に係る規定を整理するため、条例の改正を検討する必要がある。</p>